

北原グループ
医療法人社団 KNI
看護師募集案内

RECRUIT



どこよりも
看護師が主役になれる病院へ



NURSE RECRUITMENT

看護師募集案内



01 PHILOSOPHY 法人理念

知恵と癒しで 医療を変える、世界を変える

進む少子高齢化、そして行き過ぎた資本経済の結果、起こるべくして起こった新型コロナウイルスパンデミック。

多くの人がこれまでの医療や社会の在り方ではいけないと気づき始めています。

医療と世界を「本来あるべき姿」に変え、東京都八王子市から日本中に、そして世界に拡げていくことが私たちの仕事です。

HOSPITAL CONCEPT 病院コンセプト

あの病院に行けばなんとかしてくれる 私たちはあなたのあの病院を目指します。

私たちはこれまで、あなたの「あの病院」になるために、東京都の八王子市で脳と心臓の疾患を中心に、脳神経外科、循環器内科、神経内科、消化器外科、精神科などの診療を行ってきました。

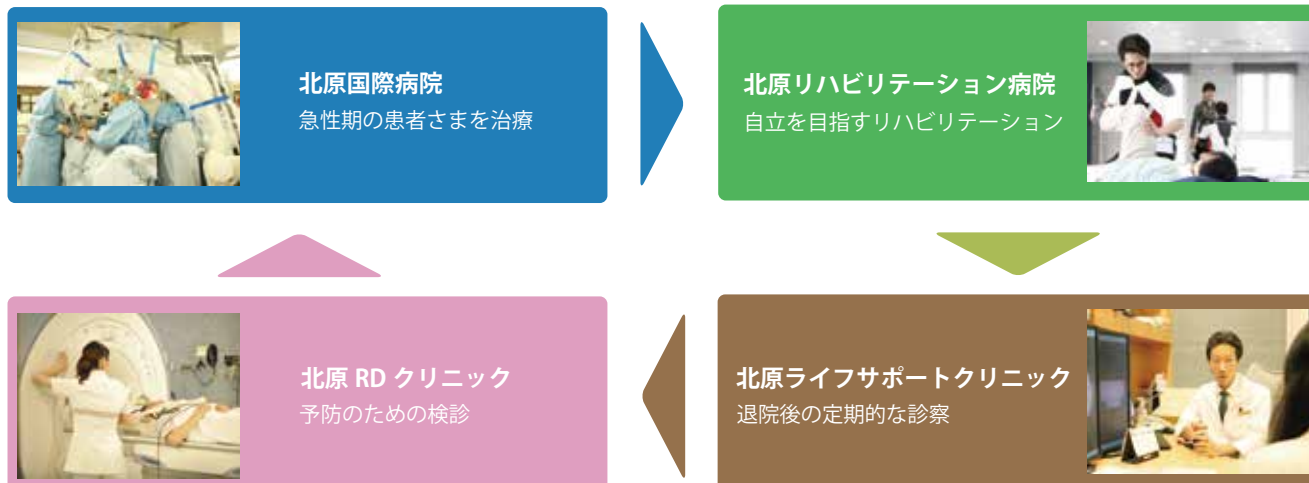
北原国際病院では 24 時間 365 日、救急患者さまを受け入れ治療し、

北原リハビリテーション病院では、徹底的な自立を目指すリハビリテーションを行います。

北原RDクリニックでは予防のための検診を、北原ライフサポートクリニックでは定期的な外来診察を行なっています。

さらには北原グループの株式会社KMSIと協力し、北原トータルライフサポート倶楽部として従来の医療にとらわれない、皆さまの自宅での生活を包括的にサポートするサービスも展開しています。

予防、救急、手術、リハビリテーション、そして「人生すべて」を一貫してサポートする。これからも変わり続ける社会の中で、これまでと変わらずに皆さまが困った時にいつでも頼っていただける「あの病院」を目指し続けます。



声(おもい)をひきだす看護の創造

患者さまの声(想い)をひきだす

患者さまは意識障害や失語症のため自分のニーズ・想いを表出できなかつたり、突然の怪我や病気・手術等で、大きな戸惑いや不安を抱えています。患者さまの声にならない声をひきだし、想いにひとつひとつ応えていきます。

ご家族さまの声(思い)をひきだす

突然の病気や入院などに直面され、多くのご家族が不安と心配でいっぱいになられます。ご家族の声・思いを尊重し、安全で質の高い看護を提供します。

仲間の声(念い)をひきだす

最良の看護は一人の力では達成できません。すべてのスタッフの力と心を合わせるためにも、仲間であるスタッフの声・念いを引き出し大切に紡いでいきます。

あなたの声(おもい)を聞かせてください。



北原国際病院

救急・手術からリハビリテーション・在宅まで一貫した医療を提供



診療科目	外来診療：脳神経外科・神経内科・形成外科 消化器外科・精神科
	入院診療：脳神経外科
病床数	99床

脳卒中の治療実績、東京都上位 脳と心臓を中心に一貫した看護を提供

*2022年12月25日発行 読売新聞より

北原国際病院は、脳神経外科を中心とした救急病院です。「救急・手術からリハビリ・在宅まで一貫した医療の提供」を病院の基本方針とし、八王子を中心に、24時間365日、患者さまが困った時にいつでも来れる病院を目指しています。当院の看護師は、病棟配属ではなく「法人配属」という形をとります。全ての病期で患者さまを看ることができ看護師であるために、病棟間を回る仕組みを採用しています。また外国人研修生の受け入れも積極的に行っている国際色豊かな病院です。



早瀬 恵美 EMI HAYASE

看護専門学校・看護大学を卒業し2004年4月に北原国際病院へ入職。急性期病棟に配属後、2008年から手術室、カテ室、救急外来にて勤務。2013年に脳卒中リハビリテーション看護認定看護師を取得。2022年特定行為研修終了。現在は、新卒看護師の教育を担当。

私は、救急から手術・入院治療を経て在宅まで看られることと、常識にとらわれない医療に魅かれて入職しました。

新人時代は学習が追いつかず挫折しそうになりましたが、救急外来や手術室を兼務すると、看護の力で患者さんの回復をサポートできるという脳外看護の魅力に気づきました。更に、認定看護師になり毎日繰り返し行っていたケアが、専門知識によって予後を左右する高度な看護になることを学び、今は教育担当者として私が学んできたことを後輩へ伝える仕事をしています。また、意識障害や失語症の患者さんが「ありがとう」の一言が言えずに苦しんでいることに気づき、「患者さんの声を聴き代弁する看護」を続けることが私の目標です。患者さんの声を聴く・意識を改善する為の早期離床や、離床に耐えられる身体を作るための二次合併予防など、一緒に協力しあえる仲間を増やしていきたいと思っています。

脳卒中は時間との勝負！ 最短で治療するために独自のシステムを採用

脳卒中医療、それは時間との勝負です。発症から治療までの時間を要するほど、身体に重篤な後遺症が残るおそれがあるからです。当院は24時間365日、救急患者の受け入れを行っているだけでなく、最短で治療を進めるために独自のシステムを採用しています。

多くの病院では、看護師は救急外来、手術室、病棟など一部署に固定配属されますが、当院では看護師が部署を越えて勤務するシステムを一部採用しています。手術が必要な患者さまが搬送されてきた場合、救急外来の看護師が救急処置を行い、そのまま手術看護師として手術にも入ります。こうすることで部署間の申し送り時間の削減や一貫した治療の提供が可能となり、最短で治療することが可能です。当院の看護師は常に患者さまに何が必要かを考え、挑戦し続けています。



研修医並みの知識と技術を持った 看護のスペシャリスト



「患者さまにとってよい医療とは何か？」を考えた時、もっとも患者さまの近くにいる看護師の役割は非常に大きなものです。

医師と一緒に、看護師が自ら考え、患者さまを回復させる体制を実践しており、「医師の指示に従うだけでなく看護師も治療における知識を身につけて看護をする」看護師を育てています。責任は大きいですが、それ以上のやりがいと成長のための経験を得られます。

目指すは研修医並みの知識と技術を持った看護のスペシャリストです。

脳を救うため、最適な治療を提供

当院は、東京都八王子周辺で脳血管内治療専門医が在籍する数少ない病院で脳梗塞新規入院件数東京都1位・脳出血新規入院件数都内2位など、脳卒中の治療実績は東京都上位を誇っています。(2022年12月25日発行 読売新聞 病院の実力「脳卒中」より)

当院の特徴は血管内治療と開頭手術をバランスよく行っていることです。血管内治療を行うべきか、開頭手術を行うべきか、患者さまの病状によって最適な方法は違います。「どちらが優れている」ではなく、「どちらが患者さまにとってメリットが多いか」という視点で最適な手術方法を選択しています。また関連が多い心疾患に対しても、循環器内科と連携し、チーム医療を行っています。



北原リハビリテーション病院

人と自然と技術の調和 未来の医療を発信「デジタルホスピタル」



診療科目	外来診療：脳神経外科 入院診療：脳神経外科
病床数	94床

短い入院期間でしっかりよくする リハビリテーション専門病院

脳卒中後遺症が回復するゴールデンタイムは発症から3ヶ月間と言われています。この期間にどれだけリハビリテーションを行えるかで回復度合いは変わってきます。当院では、24時間365日のリハビリテーションを院内でのリハビリテーションだけでなく、自然や動物と触れ合える環境を利用した介入や、入院早期から退院後の生活を想定した自宅での超実践的なリハビリテーションを行います。「よくなりたいと本気で考え、努力することができる」患者さまが自立するためのリハビリテーションを徹底的にサポートします。



太田 麻衣子 MAIKO OTA

看護学校卒業後、総合病院、精神科病院勤務を経て2011年に医療法人社団KNI入職。北原リハビリテーション病院配属。震災の翌年2012年には東北復興プロジェクトで被災者へのヒアリング調査や宮城県の北原ライフサポートクリニック東松島での勤務も経験。現在は、北原リハビリテーション病院にて、病棟チーフの役割を担っている。

私は、これまでの経験を活かしつつ新しいことにチャレンジしたいと思い転職活動をスタートしました。いくつか病院見学をする中で、病院らしくない雰囲気と家族ボランティア制度や海外事業など他とは違う取り組みに魅力を感じ入職を決めました。初めて経験する回復期は不安や緊張の連続でしたが、教育体制が整備されており基礎から学ぶことができました。回復期では退院後の生活を見据えた介入が重要です。当院は職種の垣根を越えて“患者様に必要なことは何か”を一緒に考え行動していくことができる職場です。また、急性期と違い回復期は長期戦です。患者さんは思うようにリハビリが進まず、不安や焦りを抱える時期もあります。季節ごとの花が咲く庭園やヤギに癒されながら、安心してリハビリができる環境を提供していきたいと考えています。

SUNRISE JAPAN HOSPITAL

日本初のアウトバウンド型医療輸出



カンボジア全国民に適切な医療を提供する

2016年にカンボジアの首都プノンペンにオープンした最新鋭の設備を備えた救命救急センター「SUNRISE JAPAN HOSPITAL, Phnom Penh」。ここでやっているのは、カンボジアに「地産地消の医療」を作り出すアウトバウンド型の医療輸出です。当院は現地で高い評価を受けており 2023年にはプノンペンにサテライトクリニックをオープンしました。SUNRISE JAPAN HOSPITALでは、日本人スタッフとカンボジア人スタッフが高品質な医療を提供するだけでなく、人材教育、サービス開発をととして、カンボジアの医療と社会の発展に貢献しています。



山下 翔子 SHOKOYAMASHITA

日本大学病院の小児科、産婦人科勤務後、助産師資格取得。

その後、日本赤十字社医療センターに勤務し、退職後はカンボジアを中心にボランティア活動を行う。

2018年3月にKNIに入職。再びカンボジアへ渡航しサンライズジャパンホスピタルにて勤務。

私はカンボジアで看護師、助産師としてボランティア活動していました。カンボジアは著しい経済発展に比べ、医療面はとても遅れています。そんな中、カンボジアに日本式の病院があると聞いてとても驚きました。今までの経験から質の高い医療や看護をカンボジアに定着させたいという気持ちがあり就職しました。北原国際病院で研修後、カンボジアで働きました。現地スタッフはとても優秀で彼らから学ぶことも日々たくさんあります。文化や言葉の違いにもどかしさを感じることもありますが、ここで働いていなければ、身につかなかったであろう柔軟さやコミュニケーション能力も鍛えられています。さらに脳神経外科以外にも小児科診療と産婦人科も診療開始しました。日本ではなかなか経験できないことに挑戦し続けたいと思います。



研修も病院も “らしくない” — 楽しみながら成長できる北原グループ

— 今回は、医療法人社団 KNI に昨年入職され、現在、北原国際病院で働いている清野さんと北原リハビリテーション病院で働いている早乙女さんに、お話を伺いました。

しっかり研修してもらえる安心感

清野……まず驚いたのは研修期間の長さでした！救急外来、急性期病棟、回復期病棟など看護科内全部署で研修を受けるんですが、私たちの時は12月に配属先が決まるまで8ヶ月間研修を受けました！とても手厚いなと思いました。

早乙女…そう、私も研修期間が長いことには驚きました。あと、看護科での研修とは別に、薬局や医事課など、他部署を回るローテーション研修がありました。あんなにたくさんの部署を回るとは思わなかったです。

清野……患者さんが、どんな風に病院に来て、どういう流れで病棟にきて、どんな治療を受けるのか、急性期病院からリハビリテーション病院に行くとうどう変化するのか、退院後どうなるのかなど、分かっているようで、実は知らないこともあるから、実際に流れを見れたのは良かったです。

早乙女…うん。病院全体が把握できたし、個人的には他部署の人との繋がりができの良かったかな。本配属後、知り合いが色々な部署にいるから馴染みやすく働きやすかったし、分からないことがあっても他部署の人に聞きやすくなりました！

清野……研修中は異動するたびに不安もあったけど、結果的に働きやすくなったし、良かったと感じています！この研修システムも北原だからこその特徴かも。

早乙女…そうだね。実は、認知症の祖母が転んだ時に救急搬送されたのが北原国際病院で、その時に初めて、この病院のことを知りました。その時も患者さんに対して、とても手厚い病院だなと思ったのを今でも覚えています。私たちが今、受けているような手厚い研修のおかげで、そういうスタッフが育っているのかもしれない。教育も手厚いから、脳神経外科は難しそうって自信がない人もチャレンジしやすいと思います！

退院して終わりじゃない “患者さんの健康を最後まで見守る医療”

清野……そういえば、北原って他の病院と違うところが色々あるよね。

早乙女…うん、脳神経外科患者さんへの予防、救急からリハビリテーション、在宅フォローまで一貫した医療を提供しているだけじゃなく、海外事業とか、病院運営以外にもいろんなことに取り組んでいるよね。特に一貫した医療については清野さんは研修で実感できたって言ってたよね？

清野……そうそう！私は最初、リハビリテーション病院で1ヶ月研修を受けたんですけど、その後の研修で北原国際病院（急性期病院）の一般外来にいたら、そこでリハビリテーション病院で看ていた患者さんと再会したんです！そのとき「わあ！患者さんが前より元気になってる！」ってなんだか嬉しくなりました！

早乙女…他の病院だと急性期や回復期ごとに別れていて、行き来がないことがほとんどだもんね。回復期で看ていた患者さんと再会するのは、なかなかできない体験だと

思う！こういった経験ができるのも北原の研修のいいところですね。

患者さんもスタッフも 笑顔が生まれる病院づくり

清野……あとは、全体にいえることだけど、良い意味で病院らしくないところがあるよね。

早乙女…うん。病院なのに海外事業をやっているって聞いた時はびっくりしました！それ以外にも、レストランやホテル、旅行業などもやってるらしいよ。

清野……北原リハビリテーション病院は特にすごいなと思いました！外観はヨーロッパのお城みたいだし、中も本当にホテルみたいで、こんな病院は見たことないです。病院の外では、野菜を育てたり、ログハウスみたいな温泉棟があったり、動物を育てたりしていて病院っぽさがありません！

早乙女…「自然と人が集まる楽しそうな場所にしたいって、この病院を作った」って説明を受けたけど、ほんとうに内装も外観も病院らしくない！しかも、病院の外に、これからもっと、動物や植物を増やして、変わっていくんだって。

清野……病院の庭にあるピザ釜で患者さんと一緒にピザを焼いて食べることができる病院はなかなかないもんね。心なしか、入院している患者さんも、面会に来たご家族も笑顔になっているような気がします。

早乙女…どこの病院でも看護師としての勉強はできると思うんですけど、他にはない考えや取り組み、幅広い人間関係のおかげで、「楽しいな」と漠然と思える機会が多いような気がします。



北原国際病院

看護師 清野 真知子

八王子市立看護専門学校 卒

2023年4月入職。

新人研修後、現在は北原国際病院急性期病棟勤務。



北原リハビリテーション病院

看護師 早乙女 葵

東京都立付中看護専門学校 卒

2023年4月入職。

新人研修後、北原リハビリテーション病院で勤務。



北原リハビリテーション病院庭園

病棟を超え、発症から回復まで 患者さまを見るローテーション研修

北原グループでは、法人全体での研修と、看護科での研修を行っています。

法人研修では、様々な研修を通して、グループ全体の方向性や考え方、柔軟な思考力の習得などを目指します。

看護科研修では、「病期で区切らない看護」「病院・病棟（部署）の垣根のない看護」を目指し、看護科内全部署のローテーション研修を行っています。この研修を行うことで、急性期に配属した場合でも、二次合併症や廃用症候群の予防ケアを意識した看護や、回復期を想定した声掛けを患者さま・ご家族にできるようになります。また、回復期病棟に配属した場合でも、急性期での治療内容の把握がスムーズにでき、質の高い再発予防の指導などを行うことができます。更に、研修を通して得られるスタッフ同士の関わりは、部署間のコミュニケーションを円滑にします。お互いの部署の役割について理解し合い、連携を深める事で、チーム一丸となって患者さまの回復力を高めていく北原グループの看護の質の向上に役立っています。

また、新卒看護師はこの研修を通して「看護師免許で認められている全ての技術習得」を目指します。看護師として患者さまと向き合うために、「できる」を増やします。更に、この研修を通して配属先を決定します。「自分がどんな看護がしたいか」、「自身のキャリアをどこからスタートさせたいか」など、実践を踏まえてじっくりと考えることが可能です。

こうして働く場所を自ら選んだスタッフの成長はとても頼もしいです。



新卒ローテーション研修例

4月	5月	6月	7月	8月	9月	翌年
法人研修		看護科研修				
入職時研修 看護科技術研修	救急外来 一般外来	カテ室 手術室	回復期病棟	急性期病棟	本配属	症例発表

*5月以降も法人研修への参加あり *研修の順番は変更の可能性あり

既卒 / 中途入職者ローテーション研修例

法人研修	1日	2日	3日	4日	5日	6日
	看護科研修					
入職時研修	回復期病棟	救急外来 一般外来	急性期病棟	カテ室	手術室	本配属

*入職時以降法人全体研修への参加あり *配属先により研修内容・期間は異なります。

05 WELFARE PROGRAMME 福利厚生

1 職員寮



北原国際病院の隣にオートロック（バス・トイレ別、先着順）の職員寮があります。

2 リフレッシュ休暇



3年以上勤務したスタッフは、「7日間の休暇+報奨金」又は、「30日間の休暇」が取得できます。

3 サークル活動



野球部、陸上部、フットサル部など職員・家族で参加できるサークルがあります。職種関係なく楽しんでいます。

4 車通勤可能



スタッフ通勤用の無料駐車場が完備されています。

5 ママ・パパ安心 院内保育園



6ヶ月～就学前まで利用可能な院内保育園を完備しています。病児保育も行っておりママ、パパも安心です。

6 グループ内の宿泊施設利用



「いろどりの丘」にあるSPA・レストラン・ホテルなどの利用補助制度があります。友人や家族と一緒に利用することもできます。

7 職種や病棟の壁は作らない



私達の職場には職種の壁がありません。お互いに協力し合いながら仕事に取り組んでいます。

8 絆深まる研修



様々な研修を通して、職種を超えた絆を作り、チーム力を育てる為の教育を行っています。

9 多種多様なプロジェクト



海外での医療事業や震災被災地の復興など多様なプロジェクトを行っているため、医療者の枠を超えた自分の可能性を上げることができます。

医療法人社団 KNI の関連施設



北原国際病院



〒192-0045 東京都八王子市大和田町 1-7-23
電話番号 042-645-1110

北原リハビリテーション病院



〒192-0045 東京都八王子市左入町 461
電話番号 042-692-3332

北原ライフサポートクリニック



〒192-0904 東京都八王子市子安町 4-7-1
サザンスカイトワー八王子 1F
電話番号 042-692-3332

北原 RD クリニック



〒192-0045 東京都八王子市大和田町 4-1-18
電話番号 042-656-2221

いろどりの丘



〒981-0416 宮城県東松島市野蒜ヶ丘 2-25-2
電話番号 0225-25-7577

Sunrise Japan Hospital, Phnom Penh



Phum 2, Sangkat Chroy Changvar,
Khan Chroy Changvar, Phnom Penh
電話番号 +855-23-432-022

